

NEWS Release

平成 26 年 12 月 19 日

北陸通信ネットワーク株式会社
株式会社 COM-ONE
越屋メディカルケア株式会社

遠隔看護支援協議会の活動状況及び今後の予定について

1. これまでの活動状況

遠隔看護支援協議会（以下、「協議会」）は、現在、ストーマ*¹周囲皮膚の評価方法と支援手順を標準化すること、また、院内や在宅のオストメイト*²の方を対象にした専門的な治療・看護を受けられる支援システム（以下、「支援システム」）を開発し事業化することを目指して活動しております。

昨年 12 月の協議会発足以降、月一回の頻度で会合の場を設け、次の取り組みを行ってきました。

- (ア) ストーマケア現場の実態調査
- (イ) スマートフォン(一部の Android 端末)で動作する支援システムの開発
- (ウ) 支援システムのプロトタイプを用いた看護現場（仮想環境）での実証試験実施
- (エ) ストーマケアに関する市場動向の調査
- (オ) 支援システムの販売計画検討
- (カ) 石川県が募集した「いしかわ産業化資源活用推進ファンド」（略称：活性化ファンド）の医商工連携部門への申請

特に、上記（カ）では、本取り組みの独創性が石川県に認められ、去る 8 月に採択されております。

* 1 : 人工肛門・人工膀胱のこと

* 2 : ストーマを保有されている人のこと

2. 今後の活動予定

引き続き、看護現場のニーズに合った支援システムの開発及び事業化に向けた活動を行って参ります。

主な活動項目

- (1) ストーマ周囲皮膚の評価方法と支援手順の標準化・ルール化
- (2) 支援システムの機能向上 ～ 商用タイプへのアップグレード
- (3) 実証試験の環境拡大 ～ 仮想環境から臨床・在宅環境へ
- (4) 支援システム販売計画の確立
- (5) 支援システムの認知度向上策の実施 ～ 展示会への出展など

協議会は、皮膚障害の患者さまに、病院内や在宅においてよりよい看護ケアを受けて頂くために、今後も引き続き支援システムを改善して参ります。そのため、活動期間を平成 27 年度末まで延長することと致します。

以上

(本件に関するお問い合わせ)

遠隔看護支援協議会事務局 担当：酒井

Tel 076-269-5604